

- (1) (a) (第1問A 第1段落)
→ 「anxiety」には「熱望」という意味もあるが、使用される頻度はごく稀である。an anxiety for success [to succeed] のように明らかに「不安」が当てはまらない文脈があれば、検討してみると良い。
- (2) (a) (第2問B 第6段落)
→ critical には「批判的」「重大な」「危機的な」の意味があるが、critical thinking はよく出てくる言い回しで「批判的思考」と訳す。
- (3) (a) (第4問第1文 第2段落)
→ common には「よくある」「普通」「共通の」などの訳が当てはまる。ちなみに「常識」を意味する英語には common sense と common knowledge の2つがあるが、前者は「良識」や「分別」という意味の常識を指すのに対し、後者は知識に関する常識を指す。
- (4) (b) (第4問第2文 第3段落)
→ 「移民」を意味する英単語は immigrant と emigrant の2つがあるが、前者は入国側から見た移民、後者は出国側から見た移民を指す。また、immigrant も emigrant も名詞なので-ed の形にはならない。
- (5) (c)
→ delicate は「繊細な」、「優美な」、「精巧な」、「慎重な扱いを要する」など似ているようで少しずつ違う意味をいくつか持つ単語である。被修飾語を見て意味を吟味しよう。
- (6) (d) (第3問A 第2段落)
→ 主語は the owners で複数なので、動詞は were が適切である。また、補語が nice old couple で単数なので、a が入る。
- (7) (b) (第4問第2文 第4段落)
→ pleased with で「満足している」となる。また、be pleased to do の形でも用いられる。
- (8) (c) (第6問A 第2段落)
→ この問題は many の後に何が省略されているかを考えればよい。選択肢を見てみると(c)以外はそもそも成り立っていないことがわかる。
- (9) (c) (第6問B 第3段落)
→ 「差」を表す by に関する問題だった。increase, decrease, drop, grow などと一緒に使って「～の差で」という意味になる。
- (10) (c) (第6問B 第4段落)
→ 「防止、回避」を表す from に関する問題だった。keep, prevent, refrain などと一緒に使って「～しないように」という意味になる。